

体験観光
メニュー
構築等



かねがえ けんじ
鐘ヶ江 賢治 さん

出身：福岡県久留米市(平成28年12月委嘱)
活動拠点：厚岸味覚ターミナル・コンキリエ

また、厚岸蒸溜所のツアーやサイクルツーリズム、ネイチャーウォッチング、ワカサギ釣り体験ツアーの実施やSNSを使った情報発信に力を入れた。町やコンキリエがもともと進めていたものを実施した一年だった。これまでの体験観光メニューをどのように改善していくのか検討していきたい。

オイスター
バールの
魅力向上



ながお たくろう
長尾 卓郎 さん

出身：京都府長岡京市(平成30年1月委嘱)
活動拠点：厚岸味覚ターミナル・コンキリエ

オイスターバールのリニューアルの準備に参加し、厚岸の食料を活かした新メニュー作りやランチメニューの導入などを行った。月1回行っている『オイスターdeナイト』では、普段できないコース料理などに挑戦。また、牡蠣・酪農博士検定などにも参加した。特に、町民向けの料理教室の講師を務めたとき、参加した皆さんと楽しく、ホッキのタルタルブルスケッタを作ったことが印象に残っている。

厚岸町地域おこし協力隊
活動報告会

2月9日、町主催の『地域おこし協力隊活動報告会』が、保健福祉総合センターで行われました。町の地域おこし協力隊員の6人が、この1年の活動を報告しました。

地域おこし協力隊について

- 制度概要：都市地域から人口減少の進行が著しい地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した人を、市町村が『地域おこし協力隊員』として委嘱。隊員は一定期間、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの『地域協力活動』を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組み。活動経費には、国の財政措置があり、身分は町の非常勤特別職員。
- 活動期間：おおむね1年以上3年以下

【厚岸町における導入の効果】

地域おこし協力隊

- ①自身の経験・能力を活動に生かし、町内での起業・就職へ
- ②町内での生活への順応と定住への基盤づくり

活動拠点

- ①厚岸観光の新展開とオイスターバールの魅力向上
- ②厚岸町産品の価値・魅力の掘り起こしとPR
- ③キノコ産業の育成・振興と上尾幌地域の活性化

厚岸町

- ①町政の課題対応、産業・経済団体などへの支援
- ②町民が増えることによる人口減少対策

きのこ菌床
生産等



たしも あきひろ
田下 昭宏 さん

出身：神奈川県海老名市(平成29年12月委嘱)
活動拠点：厚岸町きのこ菌床センター

道内外の先進地視察を行い自分の就農スタイルの確立や、地元生産者と情報を共有し、同じ目線になれるように菌床の管理や経営の勉強をしている。また、SNSを使って協力隊の活動内容やシイタケを使った料理のレシピ、地元の出来事などを発信。地域の活動として上尾幌自治会や消防団に参加している。今後は、自ら着業した際の販路確保のためにも町内外のイベントに積極的に参加したい。

きのこ菌床
生産等



かねこ いさむ
金子 勇 さん

出身：北海道札幌市(平成29年9月委嘱)
活動拠点：厚岸町きのこ菌床センター

きのこ菌床センターで栽培技術を学んでいる。栽培の過程で間引いたシイタケを有効活用できないかといったことや乾燥対策が今後の課題。ほかに、生産団体への支援やイベント販売時のサポートなどを行った。隊員としての活動終了後は、シイタケの生産者として着業できよう頑張りたい。今後も移住して感じた厚岸町の魅力や活動状況をSNSで発信していきたい。

水産物等の
魅力創出



いとう まさひろ
伊藤 昌広 さん

出身：東京都板橋区(平成29年8月委嘱)
活動拠点：厚岸漁業協同組合直売店

主な業務としては、店舗での接客、ホッケやサンマなどのパッケージの作成のほか、SNSを活用した限定特売などに取り組んだ。接客では、本当は気になっていくけど聞けないことなどを積極的にお客様に声をかけ仲良くなって聞き出すようにしている。また、SNSを活用して限定の特売情報の告知を行えるようになった。今後も、お客様との交流を大切にしながら活動していきたい。

水産物等の
魅力創出



おかだ たくや
岡田 拓也 さん

出身：滋賀県湖南市(平成29年10月委嘱)
活動拠点：厚岸漁業協同組合直売店

厚岸町のことをもっと多くの人に知っていただきたいという思いをもって、地域の情報発信を心掛けて取り組んできた。より厚岸の食材を手軽に食べってもらうために動画やSNSを使用し、旬の食材をアピールするコンテンツを拡充した。また、町外から来たお客様が知らない魚でも気軽においしく食べられるように、旬の食材を使ったレシピや店内のポップを充実させて、買いやすい工夫をした。